

校長室だより(No.39)

令和4年1月10日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

コミュニティ・スクール 「熟議」

1月7日、3学期が始まりました。始業式には、子どもたちに短い51日間という3学期ですが、学年の総まとめとして良い学期にしてほしいこととお話しました。

3学期最初の生活目標は、「気持ちのよいことばづかい」です。人とつながることを大切にする上で、言葉遣いは重要です。特に挨拶は、前回にも書きましたように4月来、学校のみならず、学校運営協議会でもその取組をすすめてきたところです。

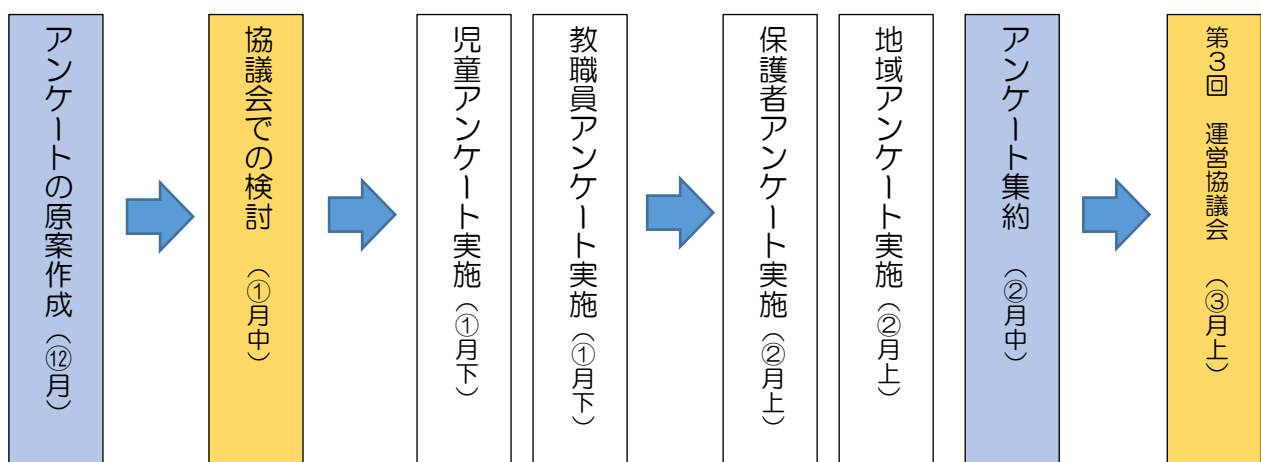
黒井小学校学校運営協議会の4月当初の年間計画では、この時期に「熟議」(黒井小学校の学校運営協議会が中心となった地域の皆さんの意見を聞く機会)を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で「紙上熟議」を実施することとしました。

計画していました熟議では、限られた時間や人数での話し合いとなりますが、紙上熟議では、より多くの意見や考えを集めることができるメリットもあります。

具体的には、「あいさつ運動についてのアンケート」を実施し、あいさつ街道の取組をどのように発展させていくかを考えていきたいと思います。全児童と教職員をはじめ、保護者の皆さま、地域の皆さま(抽出)よりご意見を頂きたいと考えています。

教職員・児童はタブレットPCを使って、保護者の皆さまには、さくらメールのアンケート機能を使って実施いたします。地域の皆さまには、紙媒体でお願いすることとしています。

【紙上熟議の実施スケジュール】



子どもたちから挨拶ができるように、前回書いておりますように、まずは、「一人ひとりが安心できる土台づくり」「一人ひとりの悩みに寄り添う姿勢」「友だちの交流の場の確保」を学校として整えまして学校、学級の一体感を高めたうえで、家庭や地域の皆さんと協力しながら挨拶ができる子どもたちになるよう取り組んでいきたいと考えています。どうかご協力をよろしくお願いいたします。